国産在来種クロマルハナバチ

アグリ・トップ®
クロマルNEXT



クロマルをおすすめする理由

- 働きバチは寒さに強く、厳寒期でもよく活動します
- 攻撃性が低く温厚な性質です
- コンパクトで扱いやすい巣箱です
- ハウスなどの閉鎖空間に適応しやすい性質です

利用期間の目安：約6週
適用面積：400坪前後

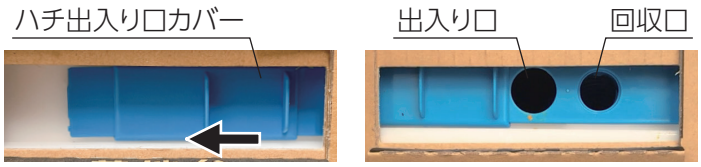
小面積ハウス栽培いちごでのご利用について

クロマルハナバチは活動性が高いため、本商品の適用面積（400坪前後）を下回るハウスや、花数が少ない時期に使用される場合は、過剰訪花に注意が必要です。

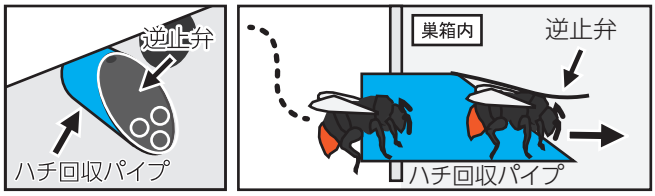


クロマルハナバチの訪花回数に応じて雌しべ、雄しべの色が茶色く変色していきます。
雌しべが茶～黒色になっている、花びらにかじった跡がある、つぼみをこじ開けて花粉を集めようとする等の行動が見られたら、一旦働きバチを回収し、活動時間を制限してください（裏面の **マルハナバチ出巣制限の例** を参照ください）。また、付属の乾燥花粉は1日1包を目安に与えてください。

出入り口の構造



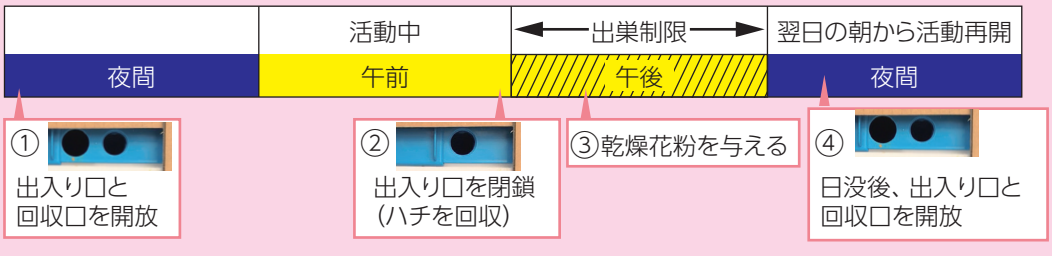
ハチ出入り口カバーをスライドさせると
出入り口と回収口が開放されます。



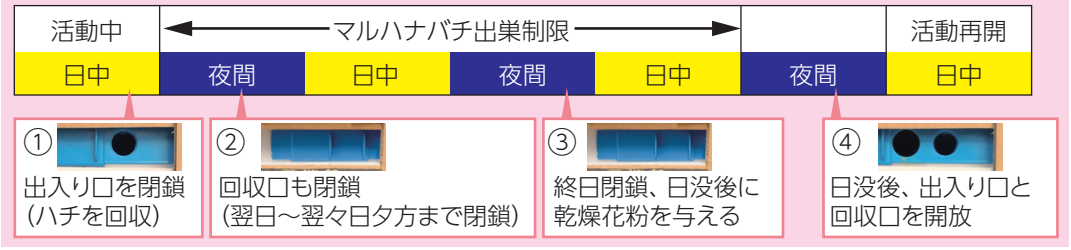
回収口の先には逆止弁がついており、巣箱内に帰ってきた
マルハナバチが再度出巣しないようになっています。

マルハナバチ出巣制限の例

● 午前中だけ飛ばす場合（働く時間を制限する）



● 2日おきに飛ばす場合（働く日を制限する）





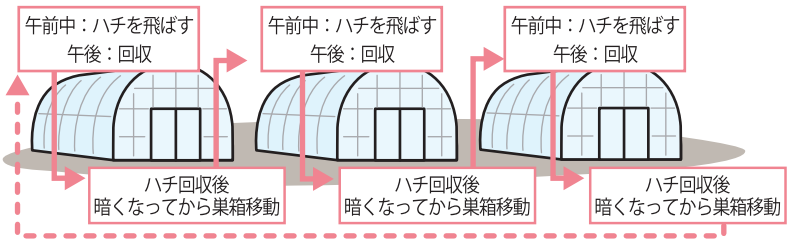
働く日や時間を制限するときは
乾燥花粉1包分（約2g）を毎日
かならず与えてください。
弊社マルハナバチ商品には4セット
（約40日分）同梱しています。
もし足りなくなった場合は、追加でお
求めください。



商品名：蜂用花粉（20g）
2g×10連包（単位：セット）

ハウス間で巣箱を移動させる際のポイント

- 単棟ハウス間で、巣箱を移動しながら数日おきに授粉を行うことができます。
- 必ず巣箱の開口部をすべて閉じてから移動させてください。
- マルハナバチ回収後、暗くなってからの巣箱移動をおすすめします。
- 移動後は、マルハナバチが飛び始めるまでに時間がかかる場合があります。また、移動前のハウス内に帰巣できなかったマルハナバチが残ることがあります。
- 適正訪花（表面画像参照）になるように、訪花状況を都度確認しながら、マルハナバチを飛ばす時間や頭数を調整してください。



3a単棟 3棟でのイメージ

ご利用にあたって

- 輸送の影響で、商品到着後はマルハナバチが興奮している場合があるため、出入り口は日没後に開放してください。
- 施設内環境や天候によって、飛び出しに3日間ほど必要な場合があります。
- 逃亡防止のため、ハウス開口部には必ず4mm目合い以下のネットを展張してご利用ください。
- 直射日光が巣箱に当たらないよう、必ず日除けを設置してご利用ください。
- 厳寒期は寒さ対策のため、夜間に毛布等をかけて保温してください。
- ミツバチとの併用時は巣箱を離して設置し、蜜、花粉などの餌が不足しないようにしてください。
- いちごの花が多く咲いている環境でご利用ください。
- 花数の少ない時期は、奇形果の原因となる過剰訪花にご注意ください（表面画像参照）。
- 商品の使用に伴う作物の着果・収量・品質などへの補償はいたしかねます。あらかじめご了承をお願いします。

初版 2026.07

株式会社 アグリ総研
〒 300-0506　茨城県稲敷市沼田 2629-1
☎ 029-840-5977　URL：www.agrisect.com